

## プラン2009 重点施策

### 1. 安全体質の確立

- ・安全マネジメントの評価の対象を中小規模事業者にも拡大
- ・メールマガジンの発信等による業界全体での事故情報の共有
- ・労働・社会保険関係法令違反に対する行政処分の強化、労働・社会保険関係行政機関との連携、運行記録計の義務付けの拡大等による、運転者の労働環境の改善 等

### 2. コンプライアンスの徹底

- ・継続監視リストによる監査強化や街頭における監査等の実施、ネガティブ情報の積極的な開示等による悪質事業者の徹底した排除
- ・重大事故の発生等に関与した発注者の名称等の公表 等

### 3. 飲酒運転の根絶・危険ドラッグ等薬物使用による運行の絶無

- ・点呼時におけるアルコールチェッカーの使用の義務付け
- ・飲酒運転に対する行政処分の強化
- ・啓発活動の実施の推進等による危険ドラッグ等薬物の使用禁止の徹底
- ・運転者の体調急変に伴う事故防止対策の浸透・徹底 等

### 4. IT・新技術の活用

- ・衝突被害軽減ブレーキ等実用化されたASV技術のより一層の普及促進、新たなASV技術の開発・実用化の促進
- ・映像記録型ドライブレコーダー、デジタル式運行記録計等の一層の普及促進
- ・次世代運行管理・支援システムの確立、過労運転防止のための機器等の普及加速 等

### 5. 運行の現場を含めた関係者一丸なった行動、構造的な課題への対処

- ・モード毎の事故の特徴を踏まえたきめ細やかな対策立案と現場まで分かりやすい具体的アクションの実施
- ・運転者教育の強化、自動車運送事業の担い手の確保及び育成
- ・事故調査機能の強化（事業用自動車事故調査委員会の提言を踏まえた対策の実施） 等

### 6. 道路交通環境の改善

- ・事故の発生割合が高い区間における交差点改良や歩道の整備、中央帯の設置、信号器改良等
- ・生活道路への通過交通が多く、事故の発生割合が高い地区において、生活道路への通過交通を抑制するためのハンパや狭さく等の整備による、歩行者等の安心・安全の確保 等

## 新プラン 重点施策案

### 1. 事業者・利用者・行政の連携による安全トライアングルの構築

- ・行政保有情報を活用・分析した監査の重点化
- ・民間指定機関を活用した貸切バス事業者に対する巡回指導の実施
- ・働き方改革の実現に向け、手待ち時間削減を図るための荷主等の協力
- ・飲酒運転、薬物運転根絶のための対策 等

### 2. 自動運転をはじめとする新技術の開発・利用・普及の促進

- ・自動運転技術の開発促進と課題の整理
- ・ドライバー異常時対応システムの実用化の促進
- ・IT点呼の更なる活用 等

### 3. 超高齢社会を踏まえた高齢者事故の防止対策

- ・安全運転サポート車の普及啓発
- ・高齢運転者に配慮した職場環境づくり
- ・バスにおける車内事故防止対策 等

### 4. 統計情報の分析等に基づく特徴的な事故等への対応

- ・モード毎の典型的な事故パターンの分析、対策の実施
- ・ドライブレコーダーを活用した事故惹起者に対する指導の強化、並びにヒヤリハット事例を活用した指導の強化
- ・健康起因事故防止対策に係るガイドラインの策定 等

### 5. 道路交通環境の改善

- ・事故発生割合の高い区間等への集中的な交通事故対策
- ・地域の協力を得ながら、生活道路における交通安全対策 等